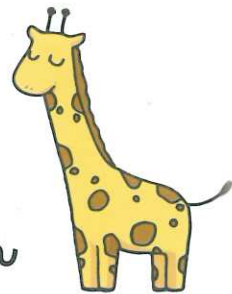


# 育児に一生懸命なお母さん、 一杯のお茶をゆっくり飲みに来ませんか？



岡本聡子さん

## ■自分の時間を少し持つだけで 子どもにさらに優しい顔になれる

玄関を開けると中から子どもたちの元気な声が聞こえてきた。おもちゃを持ってニコニコしているヨチヨチ歩きの子、ピアノの鍵盤を興味深そうに触っている男の子…。スタッフに見守られながら、どの子も思い思いに遊んでいる。そんな子どもたちの隣で、テーブルに座ってお茶を飲みながら楽しそうにおしゃべりしている女性たち。ここは、子育て中の人が集う「ほっとひろば」、保育のための「きずルーム」などを運営している子育て支援ひろば「ふらっとスペース金剛」。その代表理事を務めるのが岡本聡子さんだ。

「私には中学3年と小学5年の娘がいるのですが、育兒真っ最中の頃は「なんで私ばかりこんなにしんどいの!」と涙の出る日がたくさんありました。せめて、一杯のお茶をゆっくり飲める時間があれば…と何度思ったかわかりません。今、核家族化が進み、子育てに追われているお母さんはいっぱいいます。そんな方が一杯のお茶をゆっくりと飲みに来られる場所をつくりたかったんです」

ここは育兒のノウハウを教える場所ではなく、ひと息ついてもらう場所。決して「育兒、頑張りや」とは言わず、「頑張ってるね。たまにはちょっと休憩したら?」と声をかける。

そんな「ほっとひろば」に、同じ子育て中の友達が欲しい人や、育兒の悩みを相談したい人などが、お茶を飲みに来て来る。利用するのに予約は不要。“ふらっと”来てもらえれば、法人名にはそんな思いが込められている。

「育兒は、とくに女性に重くのしかかってきます。もちろん子どもは可愛い存在。だからこそ、ときには自分のための時間を持ってリフレッシュすることも必要です。心に余裕があれば、より優しい顔で子どもに向き合えるでしょ? だから、気軽にここに来て、愚痴をこぼしたり悩みを話したりしてほしい。保育の利用時も、理由は不問です。パパとのデートでも習い

事でもなんでもいい。ママだからって、自分の時間を持つことを我慢しないでいいんですよ」

岡本さんをはじめ、ここで働くスタッフ全員が共有しているのが、「I AM OK. YOU ARE OK.一ありのままの私でいい。ありのままのこの子でいい」という思い。こうしないといけない、あほしないといけないと考えるのではなく、100人いれば100通りの子育ての形があり、大切なのは「その人らしさ」。それを見守り、応援していきたいと岡本さんは言う。

「お母さんにとって、欲しいのは指導ではなく支援。しんどい時に「しんどい」と言え、そう言われたら「私にできることあるよ」と言ってあげられる関係性を築ける場でありたいですね」

## ■私がお婆さんになったとき、 ここにきてくつろぐのが夢

岡本さんが「ふらっとスペース金剛」を立ち上げたのは03年。今ほど行政が育兒支援に力を入れていなかったときだったという。

「こんな場が必要だと思って勢いよくスタートしたけれど、最初は大変なことだらけ。特に資金面はあてもなく、活動拠点の家賃などで当初2年半は持ち出しの状態でした。スタッフの確保も簡単ではありませんでした」

経営や危機管理の勉強も重ね、少しずつ利用者も増え、活動を始めて翌年にはNPO法人化。「ほっとひろば」は富田林市からの委託事業にもなり、今では「富田林市市民会館レインボーホール」内、「かがりの郷」内でも展開している。また、岡本さんはスタッフから「さらに忙しくなるから、これ以上アイデアを出さないで」と冗談交じりに言われるほどのアイデアマン。派遣託児、子育てヘルパーの派遣のほか、社会との断絶を感じがちなお母さんたちに「できること・得意なこと」を登録してもらい、それを生かせる場づくりをスタッフが考えて応援する「できること登録」、施設内で手作りの作品を展示販売する「ふらっとギャラリー」、小学生が大学生のリーダーたちと一緒に

にキャンプや登山などを経験する「子どもわくわく体験隊」など、活動はどんどん多彩に。5月からは、小学生が自分のペースで勉強ができる「ふらっと寺子屋」も始まった。活動当初、ボランティアの学生は岡本さんが地元の大学に出向き、直接学生に声をかけて集めてきたのだとか。

「すべて、自らの体験の中で必要だと感じたから始めたものばかり。これからも、そんな目線と当事者性を大事にしていきたい。それが私たちに活動だと思っただけ」

じつは、「ふらっと」に込められた思いがもう一つある。それは、「フラット=お互い様」な人間関係。

「高齢者やお父さんなど関わる人がもっと多様になり、みんなで支え合える場にしていきたい。いつか私がおばあちゃんになって、ここにお茶を飲みに来たら、きずルームで遊んでいた子が大きくなってスタッフになっている。そんな人の循環を地域の中でつくり出せたらいいなと思っています」  
数年前に「ほっとひろば」に参加していた女性の一人が今はスタッフとして働いている。すでに始まっている支え合いの循環が、「誰もが支えられる側であり、支える側でもある」ということを改めて教えてくれた気がした。

(聞き手 松岡理絵)



## ■PROFILE

NPO法人 ふらっとスペース金剛  
代表理事

社会福祉士・心理相談員・保育士

富田林市在住 岡本聡子さん(昭和47年生まれ)

結婚後、2女の育兒をしながら障がい者施設のボランティアを続け、社会福祉士の資格を取る。自身の育兒体験から、育兒中の女性がひと息つける場所をつくりたいと03年に「ふらっとスペース金剛」を創設。04年にNPO法人化し、その活動が富田林市つどいの広場事業として委託される。「ふらっとひろば」ほか多彩な活動を企画・運営しながら、保育士免許も取得。趣味は温泉めぐり。

## ふらっとスペース金剛は子育てを応援します

みんなでいっしょにしゃべろ! ほっとひろばへ遊びに来てや!!

**ふらっと** 南海高野線「金剛」駅より徒歩5分

月～土曜日(祝日を含む)  
午前の部 10:00～13:00/午後の部 13:00～16:00  
おとな1人につき200円(お茶菓子代)  
★第3火曜日はメンテナンスのためお休み

**かがりの郷** 金剛バス大伴バス停より徒歩2分

火・水・木曜日(祝日は休み)  
午前の部 10:00～13:00  
午後の部 13:00～16:00

特定非営利活動法人

**ふらっとスペース金剛**

富田林市寺池台1丁目13-31

TEL/FAX.0721-29-5227 <http://www.furatto.com/>

**レインボーホール** 近鉄長野線「喜志」駅より徒歩5分

月・金・土曜日(祝日を含む)  
午前の部 10:00～13:00/午後の部 13:00～16:00  
おとな1人につき200円(お茶菓子代)

私たちが  
待ってま〜す

